

令和8年度 第1回津軽広域懇談会

次 第

- 1 開 会
- 2 事務局長挨拶・事務局挨拶
- 3 委員の紹介
- 4 副座長の指名
- 5 議 事
 - (1) 令和8年度津軽広域連合ソフト事業について
 - (2) その他
- 6 閉 会

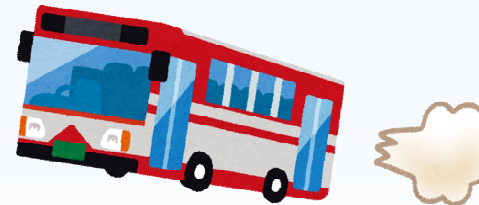


(1) 令和8年度津軽広域連合ソフト事業について

【ソフト事業（基金運用益活用事業）】

津軽広域活動推進基金の運用益を活用し、圏域住民に還元することを目的として様々な事業を実施

- ①津軽のものづくり体験教室
(津軽の名人・達人バンク事業)
- ②連合だより発刊事業
- ③ふるさと探訪バスツアー
- ④広域情報発信事業
- ⑤津軽広域懇談会開催事業



【令和 8 年度津軽広域連合ソフト事業予算】

事業名	R8予算額（円）	R7予算額（円）	R8の内訳（千円）
①津軽の名人達人バンク事業 （ものづくり体験教室）	809,000	790,000	体験教室講師謝礼（3回分）36、印刷製本費（チラシ・ポスター・バンク冊子）448、通信運搬費（チラシ等郵送）164、会場借上19、その他
②連合だより発刊事業	454,000	475,000	印刷製本費232、通信運搬費（郵送）203、その他
③ふるさと探訪バスツアー	462,000	505,000	ツアー委託258、印刷製本費（チラシ・ポスター）85、通信運搬費（チラシ等郵送）34、その他
④広域情報発信事業	755,000	312,000	印刷製本費（写真展、特派員チラシ）214、通信運搬費（郵送、インターネット使用料）270、会場借上78、機械借上（PC）74、その他
⑤津軽広域懇談会	272,000	264,000	委員報酬（10人×2回）205、旅費27、通信運搬（郵送）12、その他
ソフト事業合計	2,752,000	2,346,000	



①津軽のものづくり体験教室（津軽の名人・達人バンク事業）

【津軽の名人・達人バンク】

様々な分野で活躍する圏域の人材を講師として登録し、地域住民が講師や指導者として活用できる制度

【ものづくり体験教室】

- ・ 名人・達人バンクに登録している講師を活用し、圏域市町村各地で実施
- ・ 年に3回実施（圏域住民対象、夏休み・冬休み中の子ども対象）



【ものづくり体験教室】第1回実施状況

8月11日（火・祝）圏域に住む子どもも対象
レジンキーホルダーづくり体験教室

場所：平川市図書交流施設「よみまる」2階
多目的ホール

講師：cocoPri 對馬 宏美さん



津軽広域連合 2026 第1回津軽のものづくり体験教室

本物のお花を使った

レジンキーホルダー作り

8月11日（火・祝）日程追加! **体験教室**

午前の部 10:00～11:30 午後の部 1:30～3:00

会場：平川市図書交流施設「よみまる」2階 多目的ホール

講師：cocoPri 對馬 宏美さん

しめきり 7月20日（月・祝）
当日受付時に
お好きなものを
選んでいただきます

お申込はここから

1,000円 1,200円 1,650円

持ち物
ハサミ

対象
弘前市・黒石市・平川市・
藤崎町・板柳町・大町町・
田舎館村・西目屋村
にお住まいのお子さん
※4歳～
(小学2年生以下は保護者の
同伴をお願いします。)
※親子での体験もOK!

定員
各30人
応募多数の場合は抽選となり
ます。
結果は、7月28日（火）に
メールにてお知らせします。
※メールは申込方法⑧のアドレ
スへお送りします。
※当広域連合からのメール
(rengou@tsugarukoiki.jp)
を受信できるよう、あらか
じめ設定をお願いします。
※メールが届かない場合は、
お問い合わせください。

申込方法
Eメールに下記を記入してお申込
みください。
①住所（市町村名のみ）
②参加者氏名（漢字）
③参加者氏名（ふりがな）
④学年・年齢
⑤保護者氏名（漢字）
⑥保護者氏名（ふりがな）
⑦電話番号
⑧メールアドレス
⑨希望時間（午前・午後・
どちらでも可）
※⑧は代表者のみご記入ください。
※2人以上で申込みをする場合は、
上記①～⑦をそれぞれご記入く
ださい。

津軽のものづくり
体験教室とは

津軽圏域にお住まいの住民の方を対象に「津軽の名人・達人バンク」に登録され
ている講師を活用し、ものづくりの楽しさを体感してもらうことを目的とした体験
教室を開催しています。

津軽広域連合
レジンキーホルダー作り体験係

〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20ヒロ3階
☎ 0172-31-1201 ✉ rengou@tsugarukoiki.jp

【HP・SNS】 【主催】津軽広域連合

弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大町町・田舎館村・
西目屋村の8市町村により、住みよい地域社会を目指して共同で事
業を実施する特別地方公共団体です。

【ものづくり体験教室】 第 1 回実施状況



当初「定員 30 名」
応募者多数により



**「定員 30 名×午前午後
の2回開催」で実施**



【ものづくり体験教室】 前回からの改善点



保護者が動きやすい日程で設定すればよいのでは。

- ・ 保護者も参加しやすい、夏休み中の祝日に設定
- ・ 「小学生」に限定しないで募集した。
(4歳から、親子での参加も歓迎)



【ものづくり体験教室】 前回からの改善点



- ・ 通知メールが確実に届く方法について

- ・ 「結果を受け取るメールアドレス」を記載させた
- ・ 当選者に返信を依頼した。



- ・ 参加費の価格設定について

- ・ 講師が普段実施している価格程度に設定した。



【ものづくり体験教室】応募状況

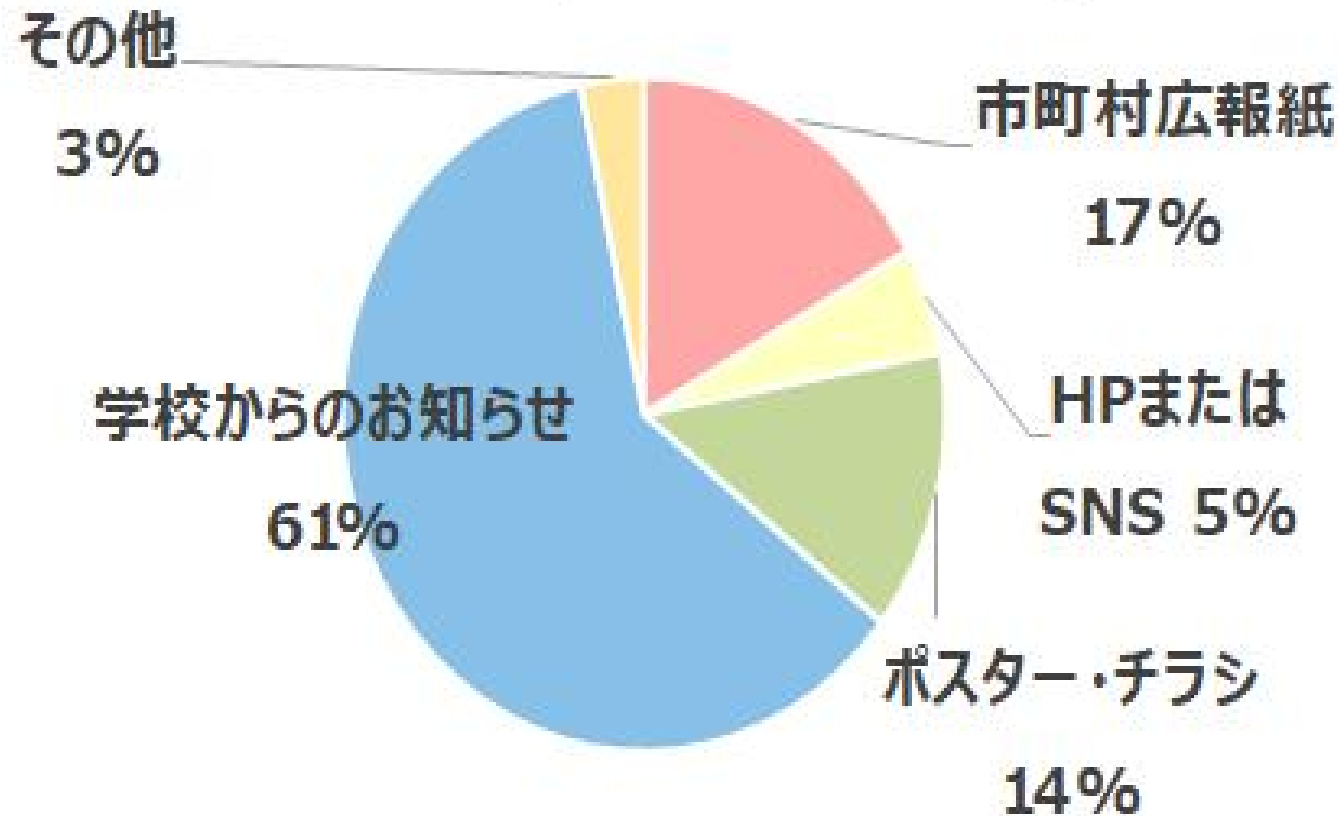
学年・年齢別										(人)
4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	合計
10	6	8	12	28	24	24	21	5	1	139

兄弟での応募状況 (組)	
3人兄弟	2人兄弟
7	21

- ・ 未就学児の応募も多かった
- ・ 約半数が兄弟での応募だった

【ものづくり体験教室】実施後アンケート

体験教室を知ったきっかけ



学校からのお知らせ、
ポスター・チラシを見て
応募した参加者が多い



**子ども（小学生）対象の
場合は、チラシが有効**



【ものづくり体験教室】当日の様子



当日 58人の参加



保護者の多くが
一緒に製作体験

お父さん・お母さんも
真剣に作っています

【ものづくり体験教室】当日の様子

兄弟で・家族全員で
製作体験を
楽しんでいました



②連合だより発刊事業（第80号）



津軽広域連合の周知



特集号として 津軽広域連合の 事業を紹介

【連合だより 第80号（特集）】



＼特集／ 津軽広域連合 事業紹介



津軽広域連合ってどんなところ？

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、様々な事務事業を共同で実施する特別地方公共団体で、平成10年2月1日、全国で8番目、東北では初めて



介護認定審査会

平成11年度～

障害支援区分判定審査会

平成18年度～

の実施



津軽広域クリーンセンター（し尿等希釈投入施設）の管理・運営

⑨ 弘前市大字津賀野字浅田1273

平成28年度～

圏域のし尿※、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥の受け入れを行い、し尿等処理の効率化を図った施設です。

処理方法は、搬入されたし尿等に含まれる夾雑物（きよ



搬入車両



＼特集／ 津軽広域連合 事業紹介



津軽広域連合ってどんなところ？

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、様々な事務事業を共同で実施する特別地方公共団体で、平成10年2月1日、全国で8番目、東北では初めての広域連合として誕生しました。今回の連合だより80号では、特集として、当広域連合で実施している主な事業について紹介します。



介護認定審査会

平成11年度～

障害支援区分判定審査会

平成18年度～

の実施

⑨ 弘前市大字駅前町9番地20ヒロ口3階



審査会の様子

介護保険法や障害者総合支援法に基づき、市町村がサービスの種類や量を決定するための判断材料として用いる「要介護状態区分等」「障害支援区分」について審査・判定を実施する審査会を設置しており、8市町村からの依頼により、公平な審査を行っています。



搬入車両



脱臭装置

津軽広域クリーンセンター（し尿等希釈投入施設）の管理・運営

⑨ 弘前市大字津賀野字浅田1273

平成28年度～

圏域のし尿※、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥の受け入れを行い、し尿等処理の効率化を図った施設です。処理方法は、搬入されたし尿等に含まれる夾雑物（きよごつぶ）※を1mm目ドラムスクリーン※で除去し、岩木川流域下水道二次処理水で希釈（きしゃく）※したし尿等を岩木川流域下水道幹線へ排水しています。

※用語解説

し尿等：人間の排泄物、トイレの汚水など
夾雑物：し尿等に含まれるゴミ
ドラムスクリーン：ゴミを除去するための機械
希釈：濃度を薄めること



～お願い～
「家庭用油」や「ペットのフン」は絶対に流さないでください。



津軽広域連合

③ふるさと探訪バスツアー

【目的】

- ・圏域の美しい自然・文化・歴史等の名所や施設を巡り、ふるさとの素晴らしい魅力を再発見・再認識する。
- ・圏域の文化を知る機会となるような体験をする。

【R8バスツアーの目的】

津軽地域で産出された木材を活用した木工体験や、歴史・文化資源の見学、郷土料理の食体験、朗読劇の鑑賞を通じて、地域資源の価値や特色への理解を深める。



2026
ふるさと
探訪
バスツアー

参加者大募集!

●ツアー料金 4,000 円
●ツアー日程 11月13日 金

ツアー見どころは裏面をチェック ▶

【参加対象】弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村に在住の方

【応募方法】「ハガキ」または「電子メール」に①～④を記入して申込み。
1通の応募につき2名まで申込みできます。2名で申込み場合は、参加される方全員の①～④を記入してください。
①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな) ③年齢 ④電話番号

【申込期限】10月5日(月) 必着

◆応募者多数の場合は抽選を行い、当選者にのみ決定を通知します。(通知発送予定:10月中旬頃)
◆このバスツアーは添乗員が同行します。
◆11月3日以降の参加取消しについては、キャンセル料が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【日程】
09:00 JR弘前駅城東口 集合・出発
09:40 わにもっこ / 木工体験
10:55 大円寺 / 見学 <ガイド付>
12:10 JR大鰐温泉駅 & 鰒come / 自由散策
12:30 弘南鉄道大鰐線に乗り換え <大鰐駅石川駅>
12:50 昼食 - 津軽あかつきの会 -
<会場: 旧石戸谷家住宅>
14:00 朗読劇鑑賞 - 津軽カタリスト -
<会場: 旧石戸谷家住宅>
14:50 サンフェスティイしかわ / お買い物
15:30 JR弘前駅城東口 到着・解散

定員30名・最少催行人数は20名です ※大型バス1台利用

【問合せ・申込先】〒036-8003 弘前市駅前町10-5日専連ビル7F 日専連旅行センター弘前支店 「ふるさと探訪バスツアー」係
メールアドレス: y.matsuki@nissenren-travel.jp 電話番号: 0172-36-4649
営業時間: 9:30~12:30、13:30~17:30 (土曜日・祝日休業)
旅行実施: 青森県知事登録旅行業 第2種101号 総合旅行業務取扱管理者: 松木 芳文

【企画】弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村の8市町村により、津軽広域連合
津軽広域連合は、住みよい地域社会を目指して共同で事業を実施する特別地方公共団体です。

【適合印】



【ふるさと探訪バスツアー】 ツアー内容

OWANI



HIROSAKI

【ふるさと探訪バスツアー】 委員のご意見より



電車内でイベントが実施されていると楽しいのでは

りんごねぶた列車運行中
(200個のりんごねぶたが装飾)

りんごねぶた列車 (弘南鉄道 大館線)

運行期間: 令和8年9月5日から11月30日まで

夜間特別ライトアップ運行 期間中の金・土・日曜日・祝日 限定

りんごねぶた列車の乗車にお祝い特典

弘南鉄道株式会社 TEL.0172-44-3136



【ふるさと探訪バスツアー】昨年度の申込状況から

R7申込状況

年代	申込方法		
	ハガキ	メール	合計
30代		2	2
40代		1	1
50代	5	3	8
60代	11	3	14
70代	14	4	18
不明		1	1
合計	30	14	44

- ・ 7割以上が60代以上
- ・ ハガキでの申し込みが多い
- ・ R6より申し込みが減
(R6 84人)

- ・ 申込方法→ハガキかメール
- ・ 参加費 5,000円→4,000円



④広域情報発信事業【巡回写真展】

【目的】

- ・津軽広域連合、関係市町村の事業周知
- ・圏域住民による地域の魅力発信

【巡回写真展】

- ・地域資源特派員による地域の魅力を伝えるレポート（写真やイラスト）を活用して、8市町村を巡る写真展を開催（隔年）

2026 津軽広域連合
地域資源レポート

巡回写真展

「新しい春」投稿者 藤田城さん（藤崎町）
「紅葉」投稿者 佐伯陽秀さん（弘前市）
「春の津軽」投稿者 リのたんさん（黒石市）

津軽の魅力を再発見！

津軽の8市町村を巡回開催！

地域資源特派員から投稿された写真やイラストを展示します。
四季折々の風景や地域の魅力を、各市町村の会場でお楽しみいただけます。
また、津軽広域連合が実施している事業紹介も展示しますので、是非ご覧ください！

観覧無料

1 田舎館村	9/5(土)～9/13(日) 中央公民館	5 平川市	10/17(土)～10/25(日) 平川市図書交流施設「よみまる」
2 西目屋村	9/15(火)～9/23(水) 道の駅津軽白神 ピーチにしめや	6 板柳町	10/27(火)～11/4(水) ふるさとセンター青柳館
3 黒石市	9/25(金)～10/4(日) ※9/28(月)は観覧不可 松の湯交流館	7 大鰐町	11/6(金)～11/15(日) 大鰐温泉駅
4 藤崎町	10/6(火)～10/15(木) イオン藤崎店（1F）	8 弘前市	11/19(木)～11/27(金) ヒロロ（3F）

時間は各施設の開催から閉館まで。休館日は施設によって異なります。

【主催・問い合わせ】 津軽広域連合
〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3階
TEL: 0172-31-1201 E-mail: rengou@tsugarukoiki.jp

HP・SNSで情報発信中
津軽広域連合

津軽広域連合は8市町村により、様々な事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。
弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村

【巡回写真展】 前回からの改善点



- ・ 展示期間を柔軟に設定しては
- ・ スーパーなど立ち寄る場所に展示しては

1 田舎館村	9/5(土)~9/13(日) 中央公民館	5 平川市	10/17(土)~10/25(日) 平川市図書交流施設「よみまる」
2 西目屋村	9/15(火)~9/23(水) 道の駅津軽白神 ピーチにしめや	6 板柳町	10/27(火)~11/4(水) ふるさとセンター青柳館
3 黒石市	9/25(金)~10/4(日) ※9/28(月)は観覧不可 松の湯交流館	7 大鰐町	11/6(金)~11/15(日) 大鰐温泉駅
4 藤崎町	10/6(火)~10/15(木) イオン藤崎店 (1F)	8 弘前市	11/19(木)~11/27(金) ヒロロ (3F)



【巡回写真展】 展示の様子（田舎館・西目屋）



※西目屋の写真
展の写真を貼付



二次元コードのアンケート実施

津軽広域連合の事業紹介

⑤ 広域懇談会開催事業

【目的】

圏域住民の民意を広域連合の施策に反映させるため、市町村から選出された住民と学識経験者を委員として委嘱し、津軽広域懇談会を開催。ソフト事業について協議している。

【R7内容】

第1回 R7.9.25（平川市庁舎・ねぶた展示館見学）

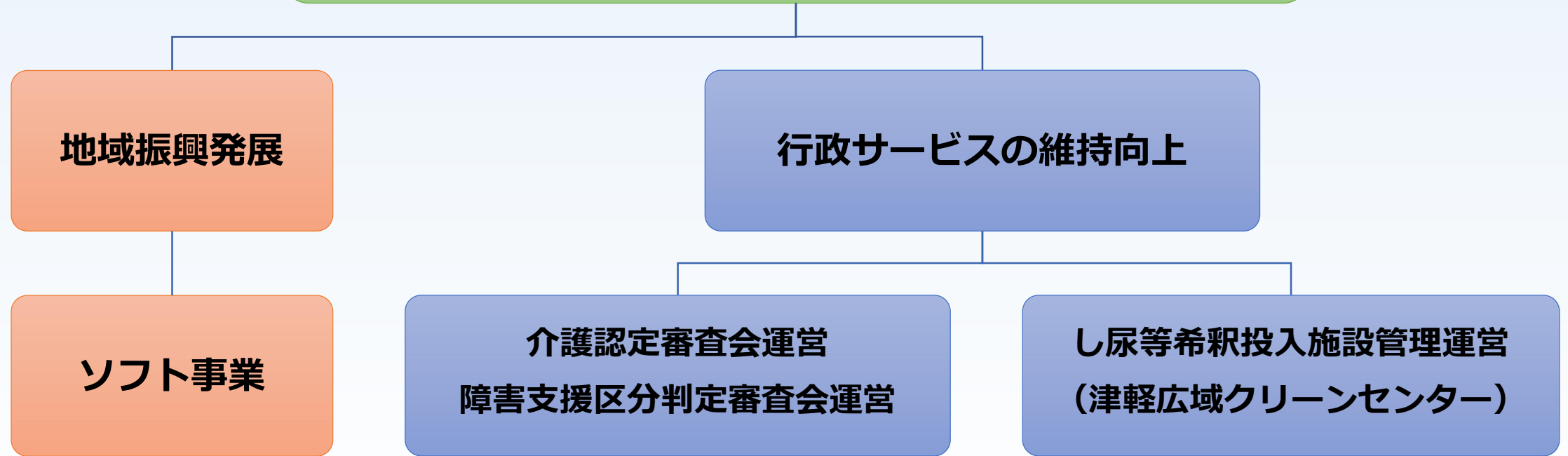
第2回 R8.3.24（巡回写真展を再現）



【広域懇談会開催事業】 津軽広域連合のビジョン

【津軽広域連合の事業目的】

関係市町村が個別に行うより、連携することで
各種事務を効果的に実施する



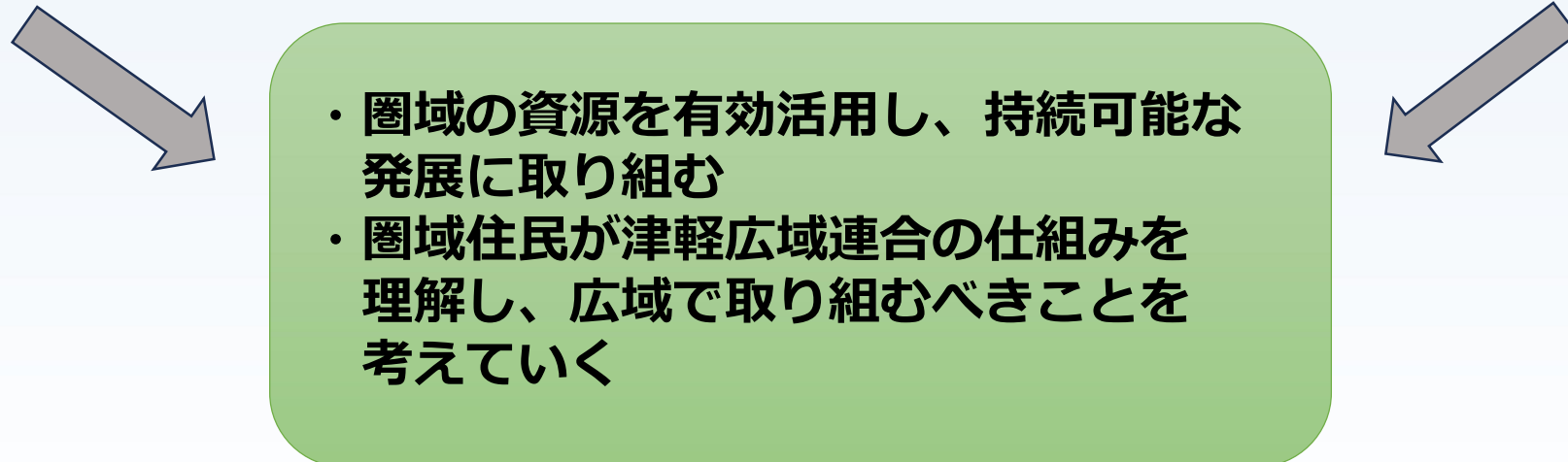
【広域懇談会開催事業】 津軽広域連合のビジョン

ソフト事業（地域振興発展）の ビジョン

- 圏域住民が8市町村の魅力を再認識する
- ⇒観光面での魅力
- ⇒住みやすさ・暮らしやすさの魅力

行政サービス維持向上のビジョン

- 圏域市町村が共通で抱えている課題を
探る
- ⇒広域で取り組める事務事業を検討する

- 
- ・圏域の資源を有効活用し、持続可能な発展に取り組む
 - ・圏域住民が津軽広域連合の仕組みを理解し、広域で取り組むべきことを考えていく

令和8年度 第1回津軽広域懇談会

よろしくお願いします



ご意見等よろしく
お願いいたします。

